

西宮市アサヒビール跡地利用計画に関するご提案

■提案の基本コンセプト名称

21 世紀の文教住宅都市西宮市が世界に発信する 「にしのみや福祉・教育・スポーツ総合副都心構想」 「WES 都にしのみや」（ウエストにしのみや）（仮称）

* 「WES 都」 = WEST : Welfare + Education + Sports + Total City

【1】提案の背景

少子高齢化が加速する社会のなかで、女性の社会進出が叫ばれる現在、これからの生き方や住まい方が問われています。私たちを取り巻く諸問題を解決しながら、一人ひとりが生を受けて天寿を全うするときまでその人らしい充実した生き方ができる街づくりはどうあるべきでしょうか。このことが 21 世紀の文教都市であり、住みたい街ランク関西 N0.1 の西宮市が提案すべき一大テーマだと言えるでしょう。

工場跡地という 20 世紀型成長モデルの遺産を受け継ぎながら、未来を見据えてそこに創り出されるのは 21 世紀の市民にとってのみちしるべとなるべきものです。産業施設の誘致や公共施設の移転・設立が現在でも意味を持つことは否定しませんが、従来型の開発モデルを追い求めるのではなく、21 世紀文教都市が歩むべきみちしるべをこの地に構築することを提案します。

【2】提案のコンセプト

21 世紀の文教都市西宮市が示す「にしのみや福祉・教育・スポーツ総合副都心構想」

「WES 都にしのみや」(ウエストにしのみや) (仮称)

21 世紀の文教都市西宮市が示すべき未来の街づくりは全ての人がこの地に生まれてから人生を全うするまでその人らしい充実した生き方ができる街のすがたです。学び、仕事、子育て、老後の生活という人生のさまざまな局面のなかで都市に求められる機能は住宅と都市インフラそして自然環境です。これらの水準において高い評価を受けている西宮市で今後充実させるべき機能は「福祉、教育、スポーツ」であり、それは赤ちゃんからお年寄りまですべての人にとっての「福祉、教育、スポーツ」であるはずで、いいかえれば、「ユニバーサル(普遍的)な福祉、教育、スポーツ」の機能こそがすべての市民に求められているはずで、

たとえば、スポーツでは健常者だけでなく、障害者のスポーツ祭典パラリンピックが定例となり、来るべき東京オリンピックの後にある東京パラリンピックに向けて関係者は動き出しています。しかし、ユニバーサルなスポーツという観点に立つとき、高齢者のスポーツという視点が必要ではないでしょうか。65 歳さらに 75 歳以上の高齢者にスポーツが不要であるとか無理であるというのは偏見です。若い健常者のレベルに及ばないことは当然ですが、その年齢層が楽しめるスポーツという視点は今後必ず求められるでしょう。未来のある時からオリンピックの後にパラリンピックと高齢者のオリンピック「エルダリニック Elderlympic (The Olympic Games for the Elderly)」が開催されるということも夢物語にしてはならないことだと考えます。福祉の基本概念であるノーマライゼーションの視点からも高齢者スポーツを推進することは意義あることです。

小中高校さらに高等教育での教育水準が高いとの評価を受けている西宮市において、今後は乳幼児のための保育、成人及び高齢者のための教育機能の充実がさらにその評価を高めることに繋がるでしょう。保育においてはすでに様々な行政の施策により、待機児童の減少が実現していますが、この努力はさらに加速させていくべきです。

一方で医療の充実が重要ですが、県立、市立、大学付属の大病院がすでに存在する西宮市において今後必要な視点は、病院に行かずに済むライフスタイルの浸透であり、そのための啓発・教育やスポーツ活動の普及こそが求められてくるはずで、

以上の意味で「ユニバーサル(普遍的)な福祉、教育、スポーツ」の都市機能を充実させた街づくりの道標を西宮市が示すことを提案いたします。跡地の公共地域において「ユニバーサル福祉、教育、スポーツ」機能を持つ都市インフラを設置し、民間開発地域においても民間デベロッパーと協力し、「福祉、教育、スポーツ」機能との融合性・親和性が高い産業及び住宅開発を行うようにすることが、中核都市となった西宮市が示すべき未来の都市開発のあり方となると考えます。

【3】設置する施設などの例

「にしのみや福祉・教育・スポーツ総合副都心構想」

「WES 都にしのみや」(ウエストにしのみや) (仮称)

「ユニバーサル福祉・教育・スポーツ」の都市機能を持つ「WES 都にしのみや」の具体的開発計画は市民や行政、用地所有者などの関係者との協議、用地部分に係る土地利用の規制法規などを詳細に検討すべき事項です。ここでは、提案コンセプトに基づく、施設などの開発計画例を示すにとどめます。

1. 「ユニバーサル福祉・教育・スポーツ」の都市機能を担うファシリティ

- ①「ユニバーサル・ジム(体育館)」 健常者も高齢者も共に楽しめるスポーツができる体育施設
西宮市「いきいき体操」の推進から将来的にエルダリンピックが実施可能な施設を目指し、高齢者スポーツのプログラム開発拠点となる。
- ②「わくわくナーサリー」 教育機能が充実した保育施設
乳幼児教育理論に基づき、モンテッソリ教具、レゴブロックなどを利用して乳幼児の教育という視点を持つ保育施設の開設を行う。乳幼児の能力開発の研究拠点の機能も果たす。
- ③「(先進的ケアを実施する)エルダーホーム」
機能訓練を発展させた高齢者スポーツ、音楽療法、料理療法などの先進的なオールタナティブ・ケアを実施できる特養ホームを設置する。ここでは利用者の介護度を下げて在宅復帰を促すことを目標とし、ケア教育や介護予防・認知症予防の研究及び啓発拠点の機能を持つ。

2. 「WES 都にしのみや」全体計画概念図

